

道路の改良

禁 轉 載

第二十號

第七十卷



鋪裝報國

鋪

東京・丸之内

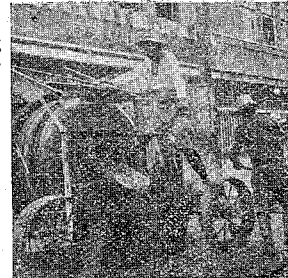
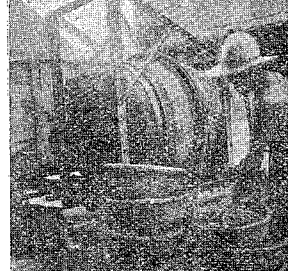
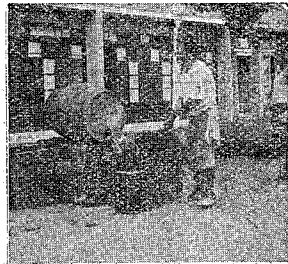
日本鋪道株式會社

社長 淺利 三 朗

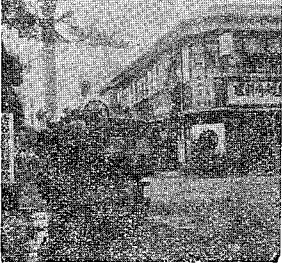
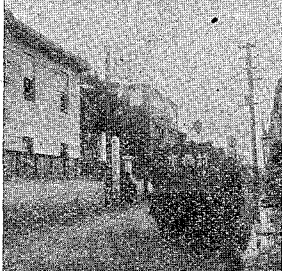
東京 大阪 福岡 札幌 京城 台北 新京 橫濱 名古屋 京都

混合用エマルビア施工順序

- 1 混合用エマルビア
- 2 混合用骨材〔砂利〕
- 3 混合
- 4 下層混合材練上
- 5 下層混合材敷均



- 6 碎石撒布
- 7 輾壓(第一回)
- 8 封絨層
透入用エマルビア撒布
- 9 同上
碎石撒布
- 10 仕上輾壓



專賣特許

瀝青乳劑エマルビア

製造販賣及鋪装工事請負

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地祿々館

電話京橋一、三二五番

電話鶴見一、一三一番

電話仙臺三、二九〇番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座西二丁目二、九
電話京橋自二一三〇至二一四九番



道路の改良 第十七卷 第十二號 目次 昭和十年十二月一日發行

口繪 幸久橋 (茨城縣)

卷 頭 言 (二)

論 說

自動車災害保険案について 早稻田大學教授 島田孝一 (三)

研 究

フランス道路法制史(五) 内務事務官 武者時一郎 (三)
路面電車の信號と保安(完) 金子禎秀 (三)

技 術

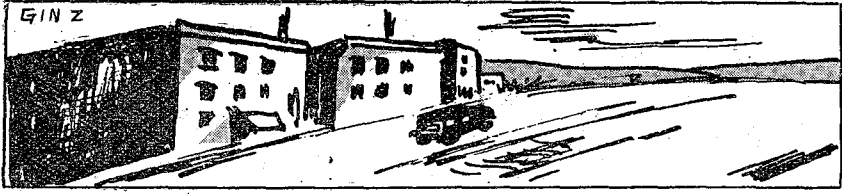
建築構造に於ける融接並に
瓦斯切斷に關する規定 (二) 内務技師 青木楠男 (二六)
土木工用塗料の話 (三) 内務技師 西川榮三 (三三)

史 科

江戸時代の道路を往く (一) 渡部英三郎 (六一)

海外道路時事

英國西岸のペンニークリップ島のチエスター、
ハリセツド道路 佛國ロワル河ボンナ
ン道路橋 現時に於ける長距離航空路
内務省土木試験 物部長 穂 (三三)
所長工學博士



漫 錄

噫道路改良會顧問床次竹二郎氏 (三) 洮 民 生 (六)
 中仙道紀行 (二) H U 生 (四)

批評と紹介

既往五箇年間に於ける國直轄 N T 生 (一六)
 國道改良工事延長と工事費 K N 生 (一七)
 最近内務省に於ける土木關係行政處分例 (三三)
 暹羅國磐谷府から

地方通信

東北・關東・北陸・東山・近畿・中國・九州・臺灣の各地方 (三四)

假面劇

皮肉な社會どう生きるか? 其他 (一四〇)

雜 報

◎土木地方債許可概要 (一三三)
 法 令 道路構造令並同細則改正案要項 其他 (一三五)
 叙 任 辭 令 (一四五)
 編輯室の内外 (一四三)
 附錄第八回道路職員講習會講演集 (十四)
 附錄總目錄

優 良 國 産



製品ノ選擇ハ先ヅ原料ノ
選擇カラ、瀝青乳劑ノ
良否ハ原料アスファルト
ノ選定カラ

瀝青乳劑

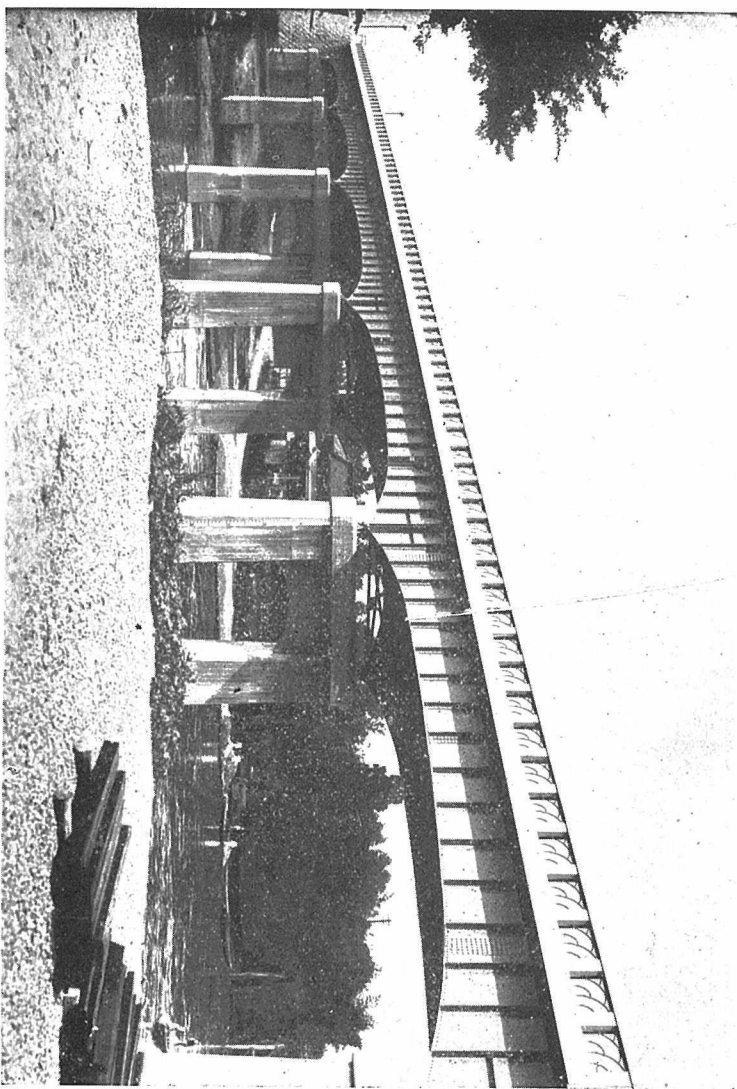
東京丸の内海上ビル(電話丸の内2581-2589)
大阪東区大船場5-1-1
名古屋栄区栄1-1-1
京都東区東山1-1-1
神戸東灘区東灘1-1-1
福岡東区東区1-1-1

瀝青乳劑一手販賣日本石油アスファルト

部 瀝 青 社 會 株 式 産 物 野 淺

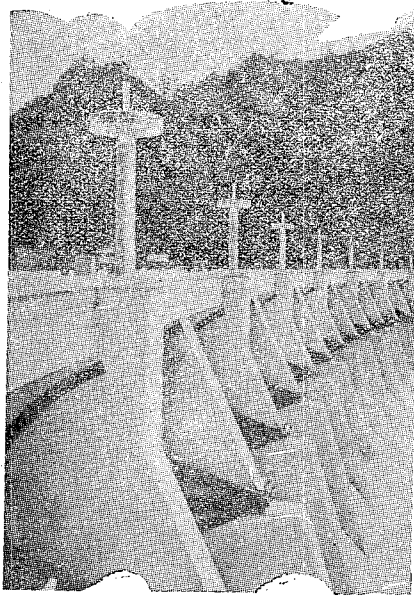
東京丸の内海上ビル(電話丸の内2581-2589)

（縣 城 茨） 橋 久 幸



（照參欄信通方地號十第卷七十第誌本）

新製品 低熱セメント發賣!!!



淺野マスコン・セメント (ASANO MASCON CEMENT)

・ 特 色 ・

- (一)比重重ク、凝結遅キコト。
- (二)コンクリートノ容重重ク、密度大ナルコト。
- (三)粉末ノ表面積大ニシテ、コンクリートハプラスチック且ツウオーカブルナルコト。
- (四)發熱少ク、コンクリートノ溫度上昇少キコト。
- (五)強度發熱比高ク、且ツ強度増進率大ナルコト。
- (六)空中收縮少ク、且ツ耐侵蝕性ナルコト。

・ 用 途 ・

一般ニ厚キ塊コンクリート工事 (Mass-Concrete) ニテ、容積變化又ハ不均齊應力ノ發生ヲ厭フモノ。(例、重力堰堤、砲壘、橋脚及ヒ機械基礎其他早期高強度ヲ要求セサルモノ、終局ノ硬化ノ低熱タルヲ要求スル工事)

淺野マスコン・セメントト米國 Boulder dam 用
低熱セメントトノ試験比較 (18 °C)

種 類	比 重	粉末程度	凝 結		水 和 熱 (H) Cal/g		空中收縮率 $\frac{\text{mm}}{10\text{mm}}$	
		cm ² /g	凝始	凝終	7日	28日	7日	28日
淺野マスコン・セメント	3.23	1430	5:22	7:14	53.9	75.0	6.1	7.8
米國低熱セメント	3.22	1330	3:17	5:25	52.3	72.3	6.9	10.0

	モルタル強度 (kg/cm ²)	強度發熱比						
		C/H						
		1日	2日	3日	7日	28日	7日	28日
淺野マスコン・セメント	7.0	81	196	303	434	659	8.1	8.8
米國低熱セメント	6.5	94	164	226	345	487	6.6	6.7

	水量(%)	抗 張 力 (T)						
		T/H						
淺野マスコン・セメント	6.8	11.5	21.8	31.1	35.1	41.3	6.5	5.5
米國低熱セメント	6.3	13.0	18.6	22.5	27.4	36.4	5.2	5.0

淺野セメント株式會社

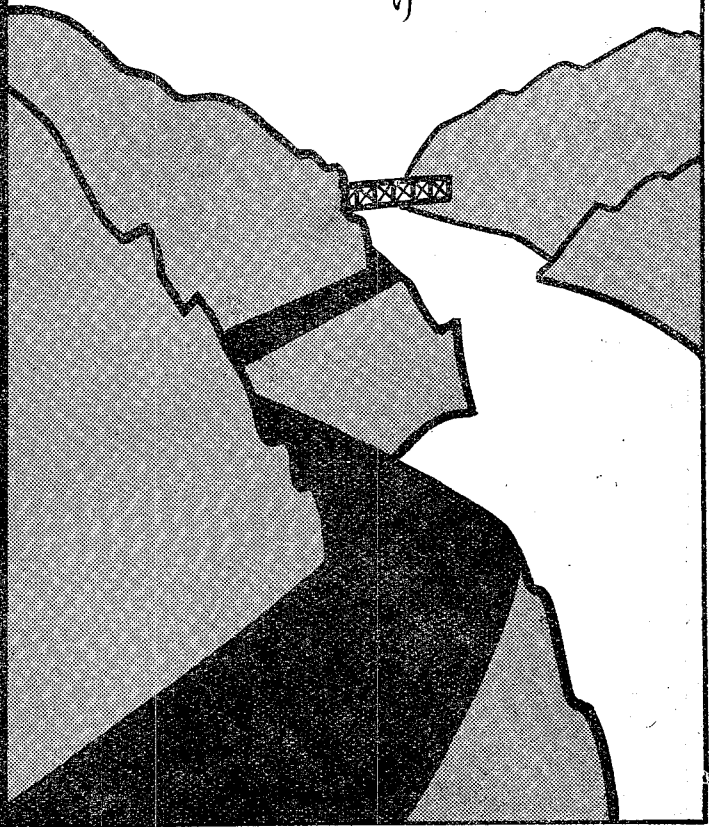
東京市麴町區丸ノ内ノ六 (海上ビル新館三階)

京城春川間

延長 五里半の

道路がエムラスに依り

乳劑舗装施工中



乳劑加熱舗装
エムラス販賣

エムラス道路工業株式会社

一般土木工事

東京市向島區善徳町西四ノ四・電(曙)二六三七

道路鋪裝工事其他一般土木建築工事請負

瀝青乳劑アスメント

(滲透用・混合用)製造販賣

碎石割栗石其他土木用石材採掘販賣

昭和工業株式會社

專務取締役

藤窗惟一

本社 東京市麴町区内幸町一ノ三

電話 銀座 (57) 自五二八八
至五二八九

瀝青工場 東京市芝区月見町二ノ四
石採掘場 東京市葛飾区古原
營業所 大阪府大連

日本道路鋪裝株式會社

營業種目

瀝青乳劑鋪裝

瀝青加熱鋪裝

其他一般鋪裝

下水及道路

其他土木工事

各種
アスファルト
販賣

東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地 丸ビル六階六〇二區

電話・丸ノ内(23)・長四八二九番・四九八二番

道路鋪裝

專賣特許 鈴木乳劑

製造販賣並二一般鋪裝工事請負

本社 東京市京橋區銀座西六丁目六番地壹(數寄屋館)

日本アスファルト乳劑株式會社

電話銀座 (57) 一五八三番
四七二一番

道 路 鋪 裝

東邦工業合資會社

(カ タ ロ ヲ 贈 呈)

本 社 [東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
電話 青山 四九七三・八一四八

工 場 [神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 [名古屋市・京都市・大阪市
岡 山 市・廣島市・小倉市



營業科目

}	滲透用	瀝青乳劑
	混合用	製造販賣
	各種鋪裝工事請負	
	一般土木建築工事請負	

小倉石油株式會社專屬販賣店

ブローンアスファルト
ストレートアスファルト
ウォーターアスファルト



本店 東京市麴町區丸ノ内 仲六號館

電話 1654
丸ノ内 5014

出張所 大阪市西區土佐堀大同生命ビル

電話 3118
土佐堀 4343



事工装舗路道トルアフスア

事工装舗トルアフターオウ割乳青瀝

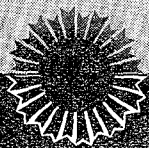
賣販理代トルアフターオウ・トルアフスア倉小

賣販造製グソイフルヒサア

社 會 式 株 本 工 市 都

地 番 二 百 一 橋 京 區 橋 京 市 京 東

番 八 六 二 二 (56) 橋 京 話 電

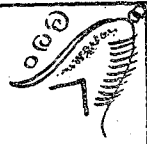


昭和十年

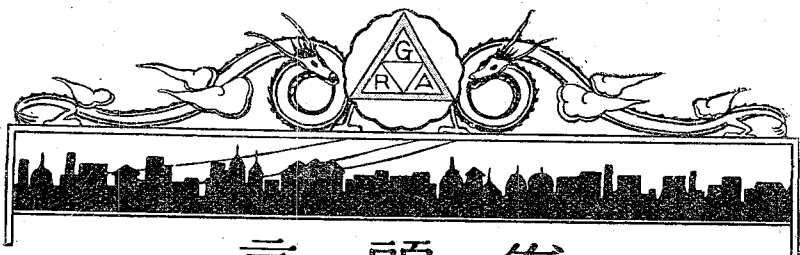
道路の改良

十二月一日

第七十卷
第二十號



GINZ



言 頭 卷

昭和十年も將に去り逝かんとする、顧みれば過去一年間に於て幾多の關心事が發生した、我等國民に取つては最も重大なる國體明微問題を初め或は憂ふべく或は悲しむべき問題が次から次へと開展した、斯る秋吾曹は牢固として動かさるることなき信念を以て日本國民としての使命に従はんことを熱願する。

惟ふに國體に對する信念の涵養は聖恩に感激し其處に精神を傾倒すること即ち余身全靈を擧げて君國に忠誠ならんことに淬勵するに在る、敢て壓力を感じしむるが如きは斷じて策の得たるものでない。日本國民は三千年來聖恩に浴して今日あることを得たるを思へばひたすらに犧牲奉公に邁進せんことを志す所なかるべからざるものである。畏れ多くも 明治大帝は五箇條の誓文を神明に立てられ維新の國を定めさせ給へるの際、更らに億兆安撫の宸翰を下し給ふた、其聖旨の中に「今般 朝政一新ノ時ニ隋リ天下億兆一人モ其處ヲ得サルトキハ皆 朕カ罪ナレハ今日ノ事 朕自身骨ヲ勞シ心志ヲ苦メ艱難ノ先ニ立古 列祖ノ盡サセ給ヒシ蹤ヲ履ミ治蹟ヲ勤メテソ始テ天職ヲ奉シテ億兆ノ君タル所ニ背カサルヘシ」と一天萬乘の天子として至仁此の如きの論旨を發し給ふに至らしめしことは時勢とはいひ國民の恐懼措く所を知らざるものである、謹て按ずるに萬古不拔なる國體も舉國一致の美風も萬機公論に決する立憲君主制も上下心を一にして熾に行ふべき經綸の樹立も一に至仁至慈の聖慮に秘められ給ふ偉業の表現せられたるに外ならない、我日本國民は茲に精神を一にして私見を去り私議を斥けて公議を採り以て國防に従ふべく、以て教育を施すべく、以て土木を整備すべく而かも非常の時局に處するに世の腐敗を防止し世の不調和を調味することに於て The salt of The earth (地の鹽) の如くあるの覺悟を持たねばならぬ。あらゆる國民を同一型に有てはめんかすることは至難であるのみでなく斯る企は寧ろ失がある、種々の傾向を有する國民各が其の特長を發揮し之を一の目的即ち帝國の使命の爲に協力する處に最良の方策が存する。

聖恩に感激し「地の鹽」たるの覺悟を實行する所に文官は文官として、武官は武官として各其職分に恪循することを得、學者は學術に、農民は農業に、商工業者は商工業に實業家は實業に各其所を得て業務に淬勵するの効果が認めらるゝのである、威歴も術策も懸引も主我的行動も地を拂ふに至るべきは信じて疑はざる所である、吾曹は舉國民茲に目醒めんことを切望し一言以て歲末の辭とする。(兆民)